

学校評価

I V Y大分医療総合専門学校

開催年月日： 令和7年5月30日

委員：

所属	種別
歯科技工所 代表取締役	企業委員
歯科技工所 代表取締役	企業委員
医療法人 事務長	企業委員
医療法人 事務長	企業委員
医療法人 職員	企業委員 卒業生

〔令和6年度 学校関係者評価〕

学校関係者評価委員まとめ

項目	自己評価	適/不適	評価	評価に係る提言・今後の改善等
(1) 教育理念・目標	4.0	適切	• IVYの学生は他校の学生に比べてレベルが高い • 教育理念・目標ともに教育現場に浸透している • 人材育成ができています • 個人的な印象であるが、挨拶のほか、IVYの学生は声をかけやすく反応がしっかり返ってくる	• 更に学生の質を上げるために、産学連携で歯科技工士の認知を高める必要がある
(2) 学校運営	4.0	適切	• 教員の質が高いので必然的に学生の質も高くなると思う • 広報と現場職員との信頼関係が構築されており、風通しの良い学校運営がなされている • 各校はどんな活動が行われるかの話になった時、IVYの活動は印象に残るものが多く、際立っている • 適切である	• 学校自体がオープンなイメージがある

(3) 教育活動	4.0	適切	- 卒業した後のことを真剣に考えて教育していると思う - 卒業後に悩んでいても相談に乗っている - 職員の教育に対する熱量がすごい - 幅広い授業で工夫がされている - いざ現場に出ても緊張しすぎない心構えができる指導もしてくれる - 知識だけではなく、実務に対応した教育がなされている - 学生が礼儀正しく好感が持てる	- 教員の学生への愛が伝わってくる。結果、社会に出て社会人として立派に役割を果たしている - 授業時間には限りがあるのでバランスよく工夫する必要がある
(4) 学修成果	3.8	適切	- 社会人としての自覚も他校の学生に比べて高く、成長が早い - 国家試験不合格者が3～4年でている - 社会に出て働いていても不安が軽くなるようにフォローもしている - 適切である	- 国家資格を取れなかった学生がいたので全員合格を目指して頑張るって欲しい - 学生のそもそもの学力が足りていない者の入学が不合格という結果になっていると感じる
(5) 学生支援	4.0	適切	- できない学生を見捨てることなく、しっかりと学生に寄り添って教育している - 学生に対しての個別指導などにより、心の支えになっている - 学生ひとり一人に合わせてくれていると感じる - 社会環境や家庭環境により変化する学生の特性に合わせた教育に取り組まれている - 適切である	- 学生への愛を感じる - 学生個々の適性に応じた社会性とフォローが今後さらに必要になってくる
(6) 教育環境	4.0	適切	- 他校の歯科技工学校は汚れているところも多いが、いつも綺麗にしている - 設備や空間が充実している - 校内内装を新しくきれいに变えるなどわくわくして授業に取り組める雰囲気になった - 校内がいつもきれいである - 校内が常に清掃されていて、いつ学校訪問しても清々しい	定員いっぱい入学した場合は、おそらく教室が手狭と思う

(7) 学生の受入れ募集	4.0	適切	・歯科技工学校が閉校している学校がある中で、学生の確保ができています ・少子化渦中でよく学生が集まっている ・頻繁に行われているオープンキャンパスは、参加する学生にとって日程も合わせやすく、嬉しいと思う ・大分の歯科技工専門学校なら「IVY」が浸透してきているを ・少子化で学生確保が難しい中でも多くの学生をできている	・広報部長を筆頭に広報活動に力を入れて結果も出ている ・企業として広告等に予算を組んで活動している ・高校の先生、学生の保護者に医療に対して関心を持ってもらいたい ・入学する学生の質を下げないでほしい ・医療事務が魅力ある職業であることを発信して欲しい
(8) 財務	4.0	適切	・適切だと思う ・問題なく良好	・特になし
(9) 法令等の遵守	4.0	適切	・適切だと思う ・問題なく良好	・特になし
(10) 社会貢献・地域貢献	4.0	適切	・大分県に技工の産業を作っているが、その一助として役割を担ってくれていると思う ・学生が積極的に参加し取り組んでいる ・ボランティア活動通じて社会貢献の意義を学んでいる	・更に定員を増やし、学生を確保して欲しい
(11) 国際交流	—	—	— —	— —

<平均> 4.0